

## 久喜市あゆみの郷 事業報告

久喜市の定める条例に基づき、関係法令を遵守し、社会福祉法人啓和会の理念と整合性を図りながら、運営規程に定める目的を達成するために以下の事業を実施しました。

### 1 利用状況と職員体制（平成 30 年 3 月 31 日）

#### （1）利用定員の充足

ア 生活介護	定員 15 名	現員 17 名	（男性 11 名 女性 6 名）
イ 就労継続支援 B 型	定員 15 名	現員 17 名	（男性 10 名 女性 7 名）

#### （2）利用者の状況

##### ア 療育手帳の所持状況

	㊤	A	B	C	なし	計
生活介護	9	3	4	0	1	17 人
継続 B 型	1	5	7	2	2	17 人
計	10	8	11	2	3	34 人

##### イ 障害程度区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	未判定	計
生活介護	0	0	5	3	7	2	0	17 人
継続 B 型	0	1	7	2	2	0	5	17 人
計	0	1	12	5	9	2	5	34 人

##### ウ 年齢分布

		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	平均
生活介護	男性	0	7	4	0	0	0	27.3 歳
	女性	0	3	0	1	0	2	39.8 歳
就労継続	男性	1	4	3	1	1	0	31.6 歳
	女性	0	3	0	2	2	0	38.3 歳
計		1	17	7	4	3	2	33.1 歳

##### エ 利用率の状況

###### （ア）生活介護

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数	21	21	22	20	23	21	23	21	20	20	20	21	253 日
延利用者数	329	340	354	322	339	326	352	331	317	272	283	328	3893 人
利用率	104	107	107	107	98	103	102	105	105	90	94	104	102.5%

(イ) 就労継続 B 型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	21	22	20	23	21	23	21	20	20	20	21	253日
延利用者数	334	329	367	331	315	313	331	303	293	281	275	301	3773人
利用率	106	111	110	110	91	99	95	96	97	93	91	95	99%

オ 職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長兼サービス管理責任者	1	
主 査	1	相談支援業務兼務
職業指導員	1	就労継続支援B型（運転業務兼務）
目標工賃達成指導員	1	就労継続支援B型
生活支援員	8	生活介護支援：7名（2名 運転業務兼務） 就労継続支援B型：1名（1名 運転業務兼務）
看 護 師	1	生活介護
事 務 員	1	

2 利用率の向上

就労継続支援B型事業は、4月に特別支援学校卒業生1名が契約して17名になりました。利用率も好調で年平均で99%となりました。生活介護事業では、利用率は年平均100%を超えた利用となりました。

一方、利用希望の要望も年間を通じてありました。利用率からこれ以上利用者を増やすことは難しい状況です。行政、相談センターと連携して他施設への調整を行っています。

3 生活介護・就労継続支援B型 共通事項

(1) 日常生活に関する支援

ア 利用者それぞれのニーズや状況によって、きめ細かな支援を取り組みました。問題が発生した際もすぐに対応策を検討して、必要に応じて家族に連絡を取りました。その結果利用者アンケートを実施しても支援に満足しているという意見が多く聞くことが出来ました。

イ 4つの部活動が活動しています。どれも充実して希望者も増えています。「ちくちくクラブ」は、手芸などの創作活動には、普段、コミュニケーションが苦手な利用者も参加を表明して行い表情豊かに活動しています。「鉄道研究部」では、活動が通所のモチベーションになっている人もいます。

ウ 自治会が充実しました。自分達で「考え」「話し合い」「決めて」「実行」する取り組みを行いました。利用者から希望が出たディズニーランドへのグループ外出の計画（アンケートから行程を調べる等）を1年かけて取り組みました。9/20に実施に至りとても満足していました。

(2) 健康管理に関する支援

ア 健康診断（1回）と保菌検査（2回）を行いました。いずれも特変はありませんでした。今年度も健康診断は嘱託医の所属する医療機関で実施しました。健康診断と嘱託医巡回の連動で

早めの治療にも繋がることになりました。

イ 家族の承諾を得たうえで職員の同行を必要とする利用者には通院同行を行いました。日中の様子を正確に情報交換することによって受診の効果が多く出ています。

### (3) 権利擁護に関する支援

ア 虐待防止の徹底をしました。利用者の対応方法をすべての職員が共有できる環境づくりを行いました。個別の対応が必要な場合は、次の日には持ち越さないでその日のうちに方針を出していくことを取り組みました。

イ 法人で行う虐待防止研修、埼玉県主催の虐待防止研修には2名の職員を派遣しました。また、事業所内での研修を実施するとともに職員会議では「啓和会職員行動規範」の読み合わせを毎月行いました。

## 4 生活介護

### (1) 日常生活支援

ア 上手に食事ができず食べこぼしが目立つ利用者には、個人に合った食器で提供しました。嚥下に課題のある利用者には、食材をすりつぶすなどの対応をしています。また、9月から昼食の注文先がコムラードの弁当を選択できるようになり、生活習慣病の可能性のある人に脂質、塩分等も考慮された食事がとれるようになりました。

イ アセスメント様式の見直しを行いました。様式の変更に伴い職員にアセスメントの視点の研修を行い、新たな視点で利用者を見る事で支援の幅が広がって行く環境づくりを行いました。今後、アセスメントの結果を支援につなげることが課題となります。

### (2) 作業活動支援

ア 集団での活動を中心としたグループと療育的でより個別性の支援が必要なグループに分かれて活動を提供しましたが、メンバーは固定することなく、その時の個人の状態に応じて柔軟に対応しました。

イ 農耕作業による収穫した野菜を施設前に設置した無人販売所で販売しました。また、就労継続支援B型事業と協働で、利用者が描いた絵を表紙にした手帳、ノートを作成しました。また、ボランティアさんの協力もとTシャツの藍染めなど新たな自主製作品の取り組みも行いました。

ウ 工賃全体の支給状況については下表の通りです。

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
支 給 額	53,769 円	145,588 円	78,223 円	105,290 円	55,241 円	65,129 円
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
94,842 円	81,770 円	57,520 円	95,194 円	66,725 円	94,847 円	994,138 円

### (3) 余暇支援

軽運動（レクリエーション）や買い物外出等を定期的にも実施しました。また、誕生月による外食は各月の誕生者で食べたいお店を選んで行きました。少人数で行くことが出来るので、ゆっくりランチが楽しめるとのことで好評でした。

## 5 就労継続支援 B 型

### (1) 社会生活支援

ア グループホームへの体験利用を希望する利用者への支援を行いました。体験中は本人が安心できるように随時様子伺いを行い、グループホームの職員と協働で適応が図れるように支援しました。

イ 発障協が主催する利用者部会に積極的に参加しました。部会では、他事業所（入所施設）を見学して入所施設での生活について話を聞きました。また、今年も「権利擁護について」（虐待防止）などを参加者で話し合い、自立に対する意識を学びました。

### (2) 企業実習

就職希望の利用者に対して、就労支援センターと連携して企業実習を行いました。通勤訓練等行う事で安心して実習に取り組むことが出来ました。

### (3) 作業活動支援

ア 平均工賃が下がりました。11,649 円で昨年度と比べると 4,500 円の減でした。内職の受注数が減ったこと等が要因と考えます。対応としては、2 社の企業から新規に受注しましたが、施設の構造などから工作機械等が必要な単価の高い内職が受注出来ない事、企業の景気に左右されることが課題としてあります。平成 30 年度は、平均工賃 13,000 円を目指しています。

イ 毎月の工賃収入額は下表のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
支給額	197,524 円	240,889 円	205,392 円	191,162 円	161,826 円	154,620 円
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
232,355 円	229,119 円	228,265 円	191,195 円	175,007 円	154,487 円	2,361,841 円

## 6 地域交流

(1) 地域行事に参加し地域の方との交流の場としました。

行事名	開催日
鷺宮コミュニティまつり	平成 29 年 5 月 15 日
男と女（ひととひと）のつどい	平成 29 年 6 月 24 日
ホットハートフェスティバル	平成 29 年 6 月 16～18 日
久喜特別支援学校 PTA まつり	平成 29 年 7 月 22 日
鷺宮コスモスフェスタ	平成 29 年 10 月 28 日
鷺宮人権のつどい	平成 29 年 12 月 9 日
ホットハートフェスティバル	平成 30 年 1 月 19～21 日

(2) 第 5 回あゆみの郷まつりを開催しました。公民館に所属するサークル（合唱、吹奏楽）や地域のダンスサークルのアトラクションの他、久喜市シティプロモーション課の協力による「クッキーダンス」を利用者が踊りました。練習はプロモーション課の職員に指導してもらいました。来場者は約 300 名を超えました。事前に周辺の自治会に周知を行えたことで施設の周囲のお住いの方の来場者が多く見受けられました。

(3) 「あゆみだより」を年 3 回発行しました。公共施設を中心に設置してもらい施設の PR に努めました。

- (4) 「あゆみの郷5周年感謝会」を日頃お世話になっているボランティア、行政、民生委員などを招いてお祝いをしました。実施にあたっては、利用者自治会を中心に企画、運営をしてもらいました。あゆみの郷家族会からは、災害時の非常電源として発電機の寄贈を受けました。
- (5) 実習生、ボランティアの受け入れについては次のとおりです。

ア 施設現場実習の受け入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
平成 29 年 8 月 21 日 ～平成 29 年 10 月 14 日の間	東洋大学 (社会福祉士実習)	2	50日間
平成 29 年 10 月 16-17 日	久喜市新任研修	4	2日間
平成 30 年 2 月 5 日 ～平成 30 年 2 月 20 日	関東短期大学	1	11日間

イ 進路体験実習の受け入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
平成 29 年 7 月 5 日～6 日	宮代特別支援学校	1	3日間
平成 29 年 7 月 27 日 ～平成 29 年 8 月 4 日の間	久喜特別支援学校	1	5日間
平成 29 年 8 月 7 日～10 日	久喜特別支援学校	1	4日間
平成 29 年 11 月 8 日～10 日	宮代特別支援学校	1	3日間
平成 29 年 11 月 20 日～22 日	宮代特別支援学校	1	3日間
平成 30 年 3 月 27 日～29 日	光の村養護学校 (秩父市)	1	3日間

(6) ボランティアの受け入れ

延べ人数、714名(前年672名)の受入を行いました。地元の方が中心で毎日の活動(作業等)支援、植栽や畑の管理等を応援していただきました。職員の業務軽減にもつながることや、利用者は、ボランティアさんとの関りを楽しんでいます。

## 7 自主事業

- (1) 送迎サービスを行っています。家族の都合等で休みがちだった人も安定して通えるようになりました。家族の高齢化などで家族での送迎が困難になっています。今年度は、17名が送迎サービスを利用しています。一方で送迎範囲が拡大してしまい、2便が1時間30分の所要時間を要しており、家族からも1時間の範囲内での希望が出ており、課題となっています。
- (2) 日中一時の受け入れを行いました。主に2名を受入、精神障害で引きこもりがちな人と行動障害が激しく他の施設で対応できなく在宅生活になっていた知的障害者の受け入れを(1月から)行いました。体型も大きくパニックになると噛みつく、蹴る、叩くなどの他害行為になる事はあったが、行動を分析して対応することを繰り返し行っていく事で、パニックの回数は減少しています。利用にあたっては、相談支援センター、行政と個別会議を繰り返し行いました。

## 8 危機管理

- (1) 避難訓練を3回実施しました。想定は火災だけではなく、地震や竜巻などの災害も想定して実施しています。
- (2) 交通安全研修（利用者向け）久喜警察署協力のもと、交通安全研修を行いました。研修は、講話と交通安全のDVD鑑賞、腹話術による寸劇、通所や日常に自転車を利用する人を対象に自転車に乗る人を対象に実技指導も行いました

## 9 人材の育成

内部研修を重点に支援の質の向上を目指して努力しました。日々の支援の在り方の見直しや意識の向上、専門性を高めるための支援スキルの獲得に努力しました。外部研修については下記の通りです。

研修名	主催者	日付	参加者
新任職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	平成29年6月23,30日	榎島
強度行動障害研修	埼玉葛北地区自立支援協議会	平成29年9月1日	多田・藤井 桜井
接遇研修	埼玉県社会福祉協議会	平成29年10月6日	立野
虐待防止権利擁護研修 (共通講義)	埼玉県障害者支援課	平成29年12月6日	多田、江森
嚙下りハビリテーション 専門研修	埼玉県社会福祉協議会	平成29年12月15日	池田
サービス管理責任者研修 (就労分野)	埼玉県障害者支援課	平成29年12月18,19日	藤井
虐待防止権利擁護研修 (Aコース)	埼玉県障害者支援課	平成30年1月12日	江森
サービス管理責任者勉強会	埼玉葛北地区自立支援協議会	平成30年1月16日	多田 藤井
ジョブコーチセミナー	埼玉県障がい者就労支援ネットワーク	平成30年1月21-22日	多田 山崎
災害派遣研修	埼玉県	平成30年1月16日	立野
施設長及び幹部職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	平成30年1月30日	桜井
腰痛予防研修	埼玉県社会福祉協議会	平成30年2月13日	秋山
虐待防止権利擁護研修 (Cコース)	埼玉県	平成30年2月22日	多田
福祉避難所運営研修	久喜市	平成30年2月27日	立野
ストレングスモデル研修	埼玉葛北地区自立支援協議会	平成30年3月2日	桜井・多田 江森